


エコ・ファーストの約束(更新書) 「モビリティの発展と地球環境保全への取り組み」

環境大臣 中川 雅治 殿

平成 29 年 10 月 2 日
日本ミシュランタイヤ株式会社
代表取締役 ポール・ペリニオ・マレ



日本ミシュランタイヤ株式会社は、開発、製造、販売を通してより効率的な環境負荷低減活動に邁進し、持続可能な社会の形成のために以下の通り取り組んで参ります。

1. 環境対応型製品(低燃費タイヤ)の市場投入を推進いたします。

- タイヤのライフサイクルアセスメントの中で最も環境負荷が高い使用過程である走行時の CO2 削減を図るため、転がり抵抗の低いタイヤの普及を促進します。(タイヤのライフサイクルの中で、環境に影響を与える過程は、乗用車では 90%、トラック・バスタイヤでは 95%が走行時である為)
 - 乗用車用低燃費タイヤ(安全性と低燃費性を備えながら、優れた耐摩耗性能を持つ、長寿命で省資源にも貢献する、環境に優しい製品)の市場投入を積極的に進めます。
 - トラック・バス用タイヤにおいて、廃棄タイヤ削減による環境負荷の削減に貢献するワイドシングルタイヤや、資源の節約と地球温暖化防止につながる低転がり抵抗のエコロジープロダクトの普及を目指します。

2. トラック・バス用タイヤにおいて環境に配慮した“ミシュラン 4R ”を推進いたします。

- Reduce: 長寿命タイヤ(弊社従来品比でおおよそ 10%の延長)を漸次市場投入し廃棄タイヤの排出量を減らします。
- Reuse: トラックタイヤの寿命を最大 25%延長させるリグループ(摩耗タイヤへのパターン溝の追加切り込み)普及のため、2022 年までに全国 500 のリグループ作業店の設置を目指します。
- Recycle: 使用する原材料を新品比 68%削減可能なリトレッド(完全摩耗したトラックタイヤ接地部分への新しいゴムの圧着)を推進し、そのリトレッドタイヤの販売を 2020 年までに 3 倍を目指します(2008 年実績比)。
- Renew: グループでは再生可能資源を活用し、環境に配慮した原材料の調達に努めます。

3. 設計、輸送、販売、再生等あらゆる事業活動からの環境負荷を低減し、環境意識の向上に努めます。

- ミシュラングループの世界的環境活動“Moving' On Michelin”を通して、関係官庁及びエネルギー、運輸関係企業団体などと積極的に交流し、国内の環境意識の継続的向上を目指します。
- ウェブサイトを通してタイヤやモビリティと環境との関連(タイヤの転がり抵抗、空気圧管理、エコドライブなど)について啓発していきます。
- 本社(東京都新宿区)及び太田事業所(群馬県)周辺における地域の清掃活動に参加し、地域の環境保全活動に協力していきます。
- 環境展参加により一層のエコ活動促進に努めます。

日本ミシュランタイヤ株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告、ならびにウェブサイトなどを通じて定期的に公表を行ってまいります。